

## 令和元年度仙台市男女共同参画社会に関する市民意識調査(結果概要)

## I 男女の役割や地位に関する意識について

## 1 性別役割分担意識(問 9)

- ・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について尋ねたところ、前回調査(平成 26 年度実施「仙台市 男女共同参画に関する市民意識調査」。以下同じ。)では男女ともに“賛成”が“反対”を上回っていたが、今回は“反対”が“賛成”を上回り、“賛成”は全体・男性・女性でそれぞれ 10 ポイント前後減少、“反対”は 10 ポイント前後上昇した。また、「全体」と「女性」では「反対」が過半数を超えた。

				【参考：前回調査】		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
賛成(計)	35.6%	39.8%	32.3%	46.6%	49.1%	44.3%
反対(計)	52.9%	49.6%	55.6%	40.2%	36.7%	43.1%
わからない	10.2%	9.6%	10.6%	11.3%	12.4%	10.6%
無回答	1.3%	1.0%	1.5%	1.9%	1.7%	2.1%

## II 女性活躍について

## 1 女性が働くことについての考え方(問 10)

- ・女性が働くことについての考え方を尋ねたところ、男女ともに「結婚・出産に関わらず働く方が良い」(“就業継続型”)が最も多く、「出産を機会に退職し、育児が一段落した後、再び働く方が良い」(“中断再就職型”)を上回った。
- ・選択肢の文言を一部変更したため単純比較はできないが、男女とも前回調査では最も多かった“中断再就職型”が減少し、“就業継続型”が増加した。

	全体	男性	女性
結婚・出産に関わらず働く方が良い	45.6%	46.7%	44.9%
出産を機会に退職し、育児が一段落した後、再び働く方が良い	33.5%	31.9%	34.7%
出産を機会に退職し、家事・育児に専念する方が良い	4.0%	5.4%	2.8%
結婚を機会に退職し、家事・育児に専念する方が良い	2.0%	1.7%	2.0%
女性は働かない方が良い	0.7%	0.7%	0.7%
わからない	4.7%	3.9%	5.4%
その他・無回答	9.5%	9.6%	9.5%

## 2 女性が働く上で支障となること(問 11)

- ・女性が働く上で支障となることについて複数回答で尋ねたところ、男女ともに「家事・育児・介護と仕事の両立が大変」が最も多かった。
- ・「長時間労働や残業がある」と「家族の協力が得られない」で男女の意識の違いが見られる。

	全体	男性	女性
家事・育児・介護と仕事の両立が大変	85.0%	79.6%	88.6%
保育施設や介護サービスなどが利用しにくい	39.5%	35.6%	42.0%
長時間労働や残業がある	34.5%	26.3%	40.2%
昇進・昇格・給与に男女間で差がある	32.5%	30.5%	34.0%
本人や配偶者の転勤がある	31.9%	28.7%	34.0%
家族の理解や協力が得られない	25.1%	14.7%	32.3%
結婚・出産時に退職慣行がある	22.1%	23.1%	21.4%
特に支障となることはない	1.4%	1.7%	1.2%
わからない	2.0%	2.5%	1.5%
その他・無回答	4.5%	3.9%	4.9%

## 3 既婚女性の結婚・妊娠・出産・育児をきっかけとした離職経験(問 12)

- ・既婚女性を対象に、結婚等で勤め先を辞めた経験があるかを尋ねたところ、“離職経験あり”（「1年を超える期間仕事をしなかったことがある」と「1年以内に別の勤務先へ変わったことがある」の計）の割合が前回調査（55.1%）より上昇した。

		全体		正規		非正規		無職・家事専業	
		計	構成比	計	構成比	計	構成比	計	構成比
全体	離職あり	305	63.0%	30	34.9%	116	78.4%	128	65.3%
	離職なし	124	25.6%	53	61.6%	22	14.9%	36	18.4%
	無回答	55	11.4%	3	3.5%	10	6.8%	32	16.3%
30代	離職あり	48	60.8%	8	25.0%	20	76.9%	19	100.0%
	離職なし	24	30.4%	21	65.6%	2	7.7%	0	0.0%
	無回答	7	8.9%	3	9.4%	4	15.4%	0	0.0%

#### 4 政治や企業などで指導的地位に女性が少ない理由(問 15)

- 政治や企業などにおいて政策や方針を決定する立場や指導的地位に女性が少ない理由を複数回答で尋ねたところ、全体及び女性では「子育て・介護・家事などへの夫や家族の支援が不十分だから」が最も多かったが、男性では「子育て・介護の支援などの公的サービスが不十分だから」が僅差ではあるが最多だった。
- 「子育て・介護・家事などへの夫や家族の支援が不十分だから」、「男性や顧客が女性リーダーを希望しないから」において男女の違いが大きかった。

	全体	男性	女性
子育て・介護・家事などへの夫や家族の支援が不十分だから	47.0%	37.3%	53.3%
男性や顧客が女性リーダーを希望しないから	41.6%	30.0%	49.4%
子育て・介護の支援などの公的サービスが不十分だから	40.8%	38.8%	41.9%
長時間労働の改善が十分ではないから	31.5%	25.8%	35.2%
女性自身がリーダー的立場になることを希望しないから	31.2%	37.8%	26.5%
必要な知識や経験などを持つ女性が少ないから	30.5%	34.6%	28.0%
企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えるから	27.6%	27.3%	27.8%
特に理由はない	0.8%	1.2%	0.5%
わからない	4.6%	3.2%	5.7%
その他・無回答	4.9%	4.9%	5.0%

### Ⅲ ワーク・ライフ・バランスなどについて

#### 1 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度(問 16)

- “知っている”（「言葉も内容も知っている」「言葉は聞いたことはあるが、内容は知らない」の計）は、男性の方が8.4ポイント高かった。
- 前回調査に比べると男女とも“知っている”が10ポイント程度増加した。

	全体			正規（注1）		非正規（注2）	
	全体	男性	女性	男性	女性	男性	女性
知っている（小計）	69.6%	74.7%	66.4%	81.0%	79.7%	64.6%	62.1%
全く知らない	28.8%	24.1%	31.8%	17.9%	18.8%	33.3%	35.0%
無回答	1.6%	1.2%	1.8%	1.1%	1.4%	2.1%	2.8%

【参考：前回調査】

	全体			正規（注1）		非正規（注2）	
	全体	男性	女性	男性	女性	男性	女性
知っている（小計）	59.4%	63.1%	56.4%	62.6%	72.2%	57.4%	53.5%
全く知らない	39.4%	36.1%	42.2%	36.8%	27.0%	42.6%	44.4%
無回答	1.2%	0.9%	1.4%	0.5%	0.9%	0.0%	2.1%

注1) 自身の現在の働き方が「正規の社員・職員」の人

注2) 自身の現在の働き方が「派遣・契約社員」「パート・アルバイト等非正規社員」の人の計

## 2 生活の中で各活動に費やしている時間(問 17)

・平均的な1日において仕事・学校、家事、育児・介護、睡眠等の各活動にどの程度の時間を費やしているか、仕事や学校がある日と無い日、子供の有無に分けて尋ねた。

### (1) 仕事や学校がある日

・回答者全体では、「仕事、学校」については男性が女性より1時間32分長く、「家事」については女性が2時間1分、「育児、介護」については女性が54分男性より長かった。

### (2) 未就学児を持つ働く男女(前回調査との比較)

・「家事」及び「育児、介護」の計が、男性は1時間59分(18分増)、女性は8時間27分(63分増)とそれぞれ増加した。

・子どもを持つ人全体の仕事時間が減少(男性:31分減、女性:18分減)する一方で、未就学児を持つ男性の仕事時間は16分増となった(女性は39分減)。

	全体		子供あり		子ども(未就学児)あり	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
仕事、学校 (通勤・通学時間を含む)	9:57	8:25	9:52	7:43	11:02	8:06
家事、育児、介護の小計	1:09	4:04	1:16	5:37	1:59	8:27
家事 (炊事、買物、洗濯、掃除など)	0:50	2:51	0:48	3:35	0:51	3:45
育児、介護	0:19	1:13	0:28	2:02	1:08	4:42
睡眠時間	6:37	6:21	6:39	6:19	6:31	6:36
自由時間 (仕事、学校、家事、育児、介護、睡眠など以外の時間)	4:10	3:07	3:54	2:52	2:33	1:25
[合計]	21:53	21:57	21:41	22:31	22:05	24:34

### 【参考：前回調査】

	全体		子供あり		子ども(未就学児)あり	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
仕事、学校 (通勤・通学時間を含む)	10:23	8:44	10:23	8:01	10:46	8:45
家事、育児、介護の小計	1:02	3:45	1:00	4:50	1:41	7:24
家事 (炊事、買物、洗濯、掃除など)	0:46	2:58	0:39	3:35	0:38	3:26
育児、介護	0:16	0:47	0:21	1:15	1:03	3:58
睡眠時間	6:29	6:13	6:32	6:10	6:24	6:30
自由時間 (仕事、学校、家事、育児、介護、睡眠、食事など以外の時間)	3:27	2:41	3:19	2:37	1:50	0:45
[合計]	21:21	21:23	21:14	21:38	20:41	23:24

### 3 希望する介護者(問 22)

- ・将来自分が排せつ等の介護が必要になった場合、誰に介護を頼みたいかを尋ねたところ、男女ともに「ヘルパーなど介護サービスの人」が最も多く、次いで「配偶者」となったが、いずれについても男女で 20 ポイント以上の開きがあった。

	全体	男性	女性
ヘルパーなど介護サービスの人	55.3%	43.5%	63.7%
配偶者	20.2%	32.4%	11.6%
子どもや子どもの配偶者	3.6%	2.0%	4.7%
その他の家族・親族	1.0%	0.7%	1.2%
特に希望はない	13.5%	13.3%	13.4%
その他・無回答	6.6%	8.1%	5.5%

### V 仙台市の今後の取り組みについて(問 25)

- ・男女共同参画社会を実現するために仙台市で今後どのようなことに特に力を入れていくべきかを複数回答（回答は3つまで）で尋ねたところ、男性は「保育サービスなどの充実と多様な子育て支援」、「就業・生活の安定を通じた自立に向けた取り組み」、「働く女性の活躍や多様な働き方への支援」の順で多く、女性は「保育サービスなどの充実と多様な子育て支援」、「男性の家事・子育て・介護等への参加促進」、「働く女性の活躍や多様な働き方への支援」の順が多かった。
- ・「男性の家事・子育て・介護等への参加促進」で女性が男性より 10 ポイント以上高く、男女の違いが見られた。

	全体	男性	女性
保育サービスの拡充と多様な子育て支援	41.3%	45.0%	38.5%
働く女性の活躍や多様な働き方への支援	31.8%	28.7%	34.0%
男性の家事・子育て・介護等への参加促進	30.7%	23.1%	36.0%
就業・生活の安定を通じた自立に向けた取り組み	30.1%	29.0%	30.8%
意思決定の場への女性登用に向けた支援	24.2%	27.5%	21.9%
広報強化・学習機会の充実	20.5%	19.9%	20.8%
男性・子ども・若者への働きかけ	18.4%	18.7%	18.4%
多様な人々が地域活動に関わるための情報提供や環境構築	17.9%	19.2%	17.3%
人権尊重・DVの根絶・被害者支援	14.6%	15.2%	14.2%
地域防災や復興まちづくりを担う女性の人材育成・ネットワーク構築	5.5%	6.1%	5.2%
男女共同参画の視点を反映した防災・復興活動の発信	3.3%	4.4%	2.5%
特にない	1.3%	2.0%	0.8%
わからない	2.6%	1.5%	3.2%
その他・無回答	9.3%	11.0%	8.1%